

製品名: Dexras2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09932**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	RASD2
別名	RASD2; TEM2; GTP-binding protein Rhes; Ras homolog enriched in striatum; Tumor endothelial marker 2
遺伝子 ID	23551.0
SwissProt ID	Q96D21
免疫原	抗血清はヒト RASD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 217-266

背景

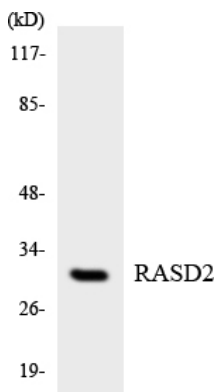
この遺伝子は、低分子 GTPase の Ras スーパーファミリーに属し、線条体に豊富に存在します。コードされているタンパク質は、低

分子ユビキチン様修飾因子 (SUMO) を付加するための E3 リガーゼとして機能します。また、このタンパク質は、ハンチントン病 (HD) で変異するタンパク質である変異ハンチンチン (mHtt) にも結合します。このタンパク質による mHtt の SUMO 化は、線条体の変性を引き起こす可能性があります。このタンパク質は、ミエリン形成、軸索の成長および再生に役割を果たすラパマイシン 1 の機構的標的 (mTOR1) の活性化因子として機能します。HD 患者では、この遺伝子によって発現される mRNA のレベルが低下していることがわかりました。[RefSeq 提供、2016年1月]、機能: GTP に結合し、固有の GTPase 活性を持ちます。シグナル伝達の媒介に役割を果たす可能性があります (類似性による)。エファロキササンに対するインスリン分泌反応の媒介に関与している可能性がある。、類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。RasD ファミリー。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: 膵内分泌細胞 (ランゲルハンス島) 。、

研究分野

-

画像データ



RASD2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。